

本校の家庭学習の指導について

授業で学習したことを確実に身に付けるために、富岡中学校では家庭学習への取り組みを働きかけたり、学習会を実施したりしています。ご家庭でもお子さんへのお声がけをお願いいたします。

家庭学習について

(1) 宿題について

宿題が出る頻度は、教科の特性によって異なります。原則として下に示したようになります。

- 国語…授業によって教科書の問題やワークの宿題を出す。
- 数学…授業によって、教科書やワーク、タブレットドリルの問題を宿題に出す。
- 英語…授業によってプリントやタブレットドリルの宿題を出す。また予習を宿題として出す。（授業時にノートをチェックする。）
- 社会…状況に応じて宿題を出す。
- 理科…授業によって、ワークやタブレットドリルの宿題を出す。

(2) 家庭学習について

学習を習得し、定着させるために、家庭学習が有効です。時間や学習の進め方について時間や学習の進め方について、学校では下記の通り、生徒に伝えています。

学年（小学校から数えて）×15分をめやすにしてください。

- 1年生…105分（1時間45分）以上
- 2年生…120分（2時間）以上
- 3年生…135分～180分（2時間15分～3時間）以上

☆「家庭学習の進め方」（別紙①）を各教科で伝え、家庭学習に取り組ませます。

- ・家庭学習をしたノートやタブレットドリルでの取り組みを学年担当教員で確認します。（生徒の学習状況を把握し、個別指導等に役立てています。）

定期考査前学習会について

定期考査（6月、9月、11月、2月）の1週間前に3～4回、30分間の放課後学習会を実施しています。生徒は自分で学習する教科を決め、問題演習に取り組みます。教科担当の教員が巡回し、生徒からの質問対応や、ポイントの解説など行っております。



別紙①

家庭学習の進め方とアドバイス

【富岡中学校】

教科	家庭学習の進め方
国語	1 漢字を書けるようになりたい ※下記の学習に取り組めるプリントを希望に応じて配布します。 ①授業で学習した漢字が読めるかどうか、書いて確かめる。読めなかった場合は友達や先生、家族に聞いて確かめる。 ②①で確認した読みについて、漢字が書けるかどうか確かめる。教科書などで答え合わせをして、書けなかった漢字のみ練習する。 ③②で書けなかった読みの漢字に再挑戦する。以降は繰り返し。 2 授業の内容を深く理解したい ①授業で学習した範囲についてワークで復習し、合っていたら○をつける。 ※正しい答えはワークに書かない。書くと分かったつもりになってしまう。 ②分からなかった問題について、ワークの解説と教科書を見ながら、どのように考えれば答えにたどりつけたのかを考える。 ※自力で理解できなかったときは、先生や友達に聞く。 分からないことを質問する習慣もとても大切です。
社会	毎回の予習：○次の授業で学習するところの教科書に一通り目を通す。 毎回の復習：○ノート・教科書を見直し、その日の授業の要点を振り返る。 ○問題集などの問題を解く。（必ず採点し、間違い直しを行う。） 発展：○特に関心のあることをノートに自分なりにまとめたり、疑問に思ったことを書き出したりする。疑問に思ったことは先生に質問する。 （歴史：時代毎の政治・人物・文化など。地理：地方ごとの特色など。 公民：政治や経済のしくみなど）
数学	【毎日やってほしいこと】 ○計算問題を少しでもやる（5分でもOK） 【より深く学ぶために】 ○苦手なところやよく理解できなかったところは… ○教科書や問題集の例題を書き写しながら解き方を確認する。 ○同じ問題を自分の力で解く。 ○理解できたところは… ○問題をたくさん解いたり、難しい問題に挑戦したりする。 ○計算などは時間を計ってくり返し練習する。 （必ず採点し、間違い直しを行う。） ※ワークや教科書の問題を「できる」まで解き直してみましょう。
理科	【毎日やってほしいこと】 ○タブドリ（5分でもいいのでやる。今学習してるところでなくても良い） ○その日進んだ分の教科書やノートを読み返し、学習したことを振り返る。 【節や章の学習が終わるごとに】 ○ワークや教科書の問題を解く。（必ず採点し、間違い直しを行う。間違えた問題は解説を読み込む。） ※「できる」までくり返し解いてみる。（3回やってもわからなければ誰かに聞く。）
英語	○予習として、ノートの左側に教科書の語句と本文を書く。 ノートの右側には本文の訳や板書などを書く。 ○自主学習として、単語練習や基本本文の写し、タブレットドリルやワークを解く。 詳細はプリントで各自に配付します。

※宿題があるときは、宿題を優先に行う。宿題がないときや宿題が早く終わったとき、このアドバイスを参考に学習を進めましょう。

※学校で補助教材として購入したタブレットドリル以外にも自分に合った問題集や参考書を購入し、自分の学習に取り入れていくことも大切です。